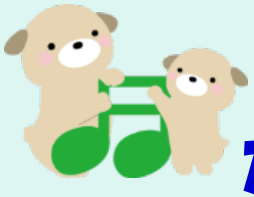

がん患者さんとご家族の集う場所

がんサロン「ハーモニー」

♪開催日　令和2年2月19日(水)

♪時　間　午後2時～3時半

♪場　所　病棟10階デイルーム

♪テーマ　がんと遺伝子/ゲノムと遺伝子
～遺伝カウンセリングをご存知ですか～

♪参加者　39名

途中の出入りは自由で、
どなたでもご参加できます。

予約は不要です！

安心して体験を語り合える
がんサロン。

ご参加お待ちしております。

「がん」ってなに？

がんは「細胞」

家族に同じ病気(がん)があれば、遺伝する？

がんは「遺伝子の病気。」
遺伝子の変化はがん細胞のみ(「遺伝」しない)

遺伝子の異常で起きる病気や遺伝する病気は自分は関係ない？

遺伝子の異常(変化)があれば「遺伝(継承)する」？

遺伝子の変化が、生まれつきのことも・・・。
「遺伝するがん」(遺伝性腫瘍)は約10%。
必ずがんになるわけではない

遺伝性であれば必ず発症する？

遺伝について心配していませんか？
ひとりで悩まずに一緒に考えましょう！

遺伝診療部　渡邉淳先生

金沢大学附属病院
遺伝診療外来のご案内

平成30年12月、金沢大学附属病院に開設した「遺伝診療外来」では、患者さんやそのご家族、遺伝に関わる悩みや不安、疑問などを持たれている方々のご相談(遺伝カウンセリング)を専門にお受けしています

費用：原則として自費診療(保険外診療)になります

**我々が誰もが持つゲノム～
でも内容は誰もが異なっています**

人のゲノムにある約3万個の遺伝子は、遺伝子ごとに体を設計するさまざまな機能を持っています。ゲノムは精子と卵子を通して子どもに譲り受け、世代から世代へ継承される特長があります。

ゲノムにある30億の配列の一部は誰もが異なり、病気のなりやすさなどが人により違います。この配列の違いも、「生殖細胞(精子、卵子)」を介して親から子に伝わります。

一方、環境や生活習慣や加齢などの後天的な要素によっても「体細胞(体をつくる細胞)」の一部に配列に変化が起こります。

**遺伝子の変化と遺伝～
遺伝子の変化は必ずしも遺伝しません**

ほとんどのがんは、正常な細胞の特定の「体細胞」の遺伝子に変化(病的変異)が後天的に生じ、がん細胞を発生します。このがん細胞にだけ起きた遺伝子の変化は、次の世代に遺伝しません。

一方で、原則的に生涯変化しない、生まれもった「生殖細胞」から有する遺伝子の変化が主な原因となり発病する病気もあります。これらは、親から子へ遺伝する可能性があります。

**病気と「遺伝・遺伝子・ゲノム」～
遺伝子やゲノムの情報を医療に活用できることも**

研究の進歩により病気と「遺伝・遺伝子・ゲノム」の関わりが急速に明らかにされています。私たち誰もが持っているゲノムや遺伝子の情報を病気の診断や治療に活用する、「遺伝医療」「ゲノム医療」が医療の一分野になってきました。

一般の方々にとって、「遺伝」「遺伝子」「ゲノム」という語は、難しいと感じるかもしれません。また、たくさんの情報や、古い情報、誤った情報は時に正しい判断や選択に影響する可能性があります。

ミニレクチャー：　がんと遺伝子/ゲノムと遺伝子
～遺伝カウンセリングをご存知ですか～

講師：遺伝診療部　渡邉淳医師　資料より引用

**次回は・・・
5月27日(水)
がんとヨーガ療法**

新型コロナウィルスにおける感染拡大防止のため、3月及び4月のがんサロン「ハーモニー」は開催中止とさせていただきます。

がん相談支援センター作成